

足立校区小地域福祉活動第二次計画

2018年～2022年における成果と課題

足立校区では、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住みなれたところで安心して穏やかに生活できる「ふれあい」と「支え合い」のまちにしたいと願い、「見守り・ふれあい・支え合い」という言葉を小地域福祉活動計画(2018年～2022年)の基本理念として、3つの基本目標とそれに基づく様々な事業活動を推進してきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響等により、地域福祉活動が十分にできない状態が続き、校区社協の活動や運営は停滞。第三次計画の策定も2年の遅滞を経ての着手となりました。

こうした中、これまでの成果や課題を踏まえながら、これからの5年間(2025年～2029年)においても、関係機関や団体、そして地域住民のみならず、誰もが安心して暮らせる支え合いのまちづくりを進めていくことが必要です。



基本目標1 福祉を学び、助け合いの意識を高めよう

地域活動者の人材確保については、チラシでの広報や地域団体への呼びかけなどを実施しました。

また、市・区社協との協働による「ふくしのまちづくり講座」の開催をはじめ、自治会の「知って安心講座」や市民センターの各種講座などへの参加を促し、地域福祉の理解促進に努めてきました。しかしながら、単発のイベントには多くのボランティアが集まるものの、福祉協力員や町内会等の継続的な活動にはなかなか定着しないことが課題です。

基本目標2 ふれあいの輪を広げ、健康で明るい地域にしよう

健康づくりや交流を目的としたふれあいサロンを校区内の4カ所で開設しています。また、「年長者の集い」には多くの高齢者が参加し喜ばれています。しかし、参加者の固定化や交流の場に出てこないこれない人たちをどう見守り、支援していくかなど課題もあります。今後ますます進む高齢化の中、誰もが気軽に集えるふれあいの居場所を身近な場所につくっていくことが必要です。

基本目標3 みんなで協力し、地域の暮らしを支え合おう

2004年度の事業開始から25年が経過したふれあいネットワーク活動ですが、急速に進む少子高齢化や地域の繋がり希薄化の中、3つのしくみ(見守り、助け合い、話し合い)づくり重要性はますます増えています。

見守りのしくみ

各町内会で福祉協力員2名(町内会長+1名)の配置をお願いしていますが、ふれあいネットワーク活動に関する研修や連絡調整会議等が実施されていないため、福祉協力員としての役割や意識が浸透しておらず、十分な活動には至っていない地域もあります。また、日常的な安否確認や関係者間のつながりや連携には課題もあります。

助け合いのしくみ

足立校区には“近隣で助け合うことがあたりまえ”の意識の住人がまだまだ多くおり、また日常生活での困りごとなどについては、福祉協力員(町内会長等)を中心に対応しています。地域に助けを求めることに躊躇する住人や町内会未加入者等の支援も含めた“助け合いのしくみづくり”が急務です。

話し合いのしくみ

2ヵ月に1度の町内会長会議において校区社協活動の連絡や調整などを行っていますが、福祉課題の共有や関係者・団体等の参画などは十分とは言えず、話し合いや学びの場の拡充を図っていく必要があります。



足立校区の元気プラン

小地域福祉活動第三次計画(2025年～2029年)



足立校区社会福祉協議会

〒802-0016
北九州市小倉北区宇佐町一丁目8-15 足立市民センター内
TEL 093-541-5085 FAX 093-541-5086

小倉北区社会福祉協議会

〒803-8510
北九州市小倉北区大手町1番1号 小倉北区役所内
TEL 093-571-5452 FAX 093-571-9553

基本理念 見守り・ふれあい・支え合い

基本目標1

福祉を学び、 助け合いの意識を高めよう

住民一人一人に地域福祉活動を身近なものとして感じてもらうため、子どもから大人まで、地域住民が参加できる様々な学びの機会をつくり、これからの地域福祉を担う人材を育てていきます。

重点実施項目

次世代地域福祉活動者の育成

- 住民、団体への説明会、広報活動の実施
- 活動者研修会の実施(新任・現任福祉協力員、テーマ別研修等)

住民研修会の開催、参加勧奨

- 各種福祉講座、介護予防・健康講座等の開催



基本目標2

ふれあいの輪を広げ、 健康で明るい地域に

子どもから高齢者まで、幅広い世代が楽しく交流できるふれあいの場づくりや行事などを企画、実施します。また、支援が必要な方が地域で孤立しないよう、住民同士のつながりや人と人との絆を深めるとともに、高齢者がいつまでも健康で生き生きとした生活が送れるよう、健康づくりや介護予防事業に取り組みます。

重点実施項目

ふれあいと交流の居場所づくり

- ふれあい交流サロンの拡充(4カ所→5カ所)
- 年長者の集い(参加者の拡大)
- ふれあい昼食交流会の支援



健康・生きがいづくり活動

- 各種健康教室の実施(料理教室、カラオケ、卓球等)
- 健康、運動行事の開催(グラウンドゴルフ、歩きing等)



基本目標3

みんなで協力し、 地域の暮らしを支え合おう

誰もが安心して暮らせるよう、「ふれあいネットワーク活動」を推進し、見守り・助け合い・話し合いの地域福祉活動に努めます。見守りや声かけ活動の中で把握した、日常生活のちょっとした困りごとを地域の人々で支援し合う助け合いのしくみを再構築します。

重点実施項目

ふれあいネットワーク活動の推進

・見守りのしくみ

福祉協力員と民生委員、関係団体等との連携強化、自治会や老人会と連携した見守り、安否確認のしくみづくり

・助け合いのしくみ

高齢者等の生活ニーズの把握
ニーズ対応チームの編成(お助け隊のしくみづくり)

・話し合いのしくみ

連絡調整会議の充実強化(1～2ヵ月ごとの定期開催)
活動者研修会の実施(新任・現任福祉協力員、テーマ別研修等)

足立校区小地域福祉活動第三次計画 『足立校区の元気プラン』

足立校区では、第三次計画を推進していく5年間(2025年～2029年)においても、誰もが住みなれたところで安心して暮らしていける支え合いのまちづくりを目指し、関係機関や団体、そして地域住民のみなさまとともに、「見守り・ふれあい・支え合い」という言葉を基本理念として、3つの基本目標とそれに基づく様々な事業活動を推進していきます。